

# 個人識別学 I

## 授業概要

親子鑑別や個人識別の検査に利用される遺伝マーカーの数は、DNA 多型を中心に年々多くなってきている。個人識別学の講義・演習では、日常検査で使用しやすく、精度が高く、安定な遺伝マーカーの現状、開発および応用について学ぶ。

## 担当教員

竹下治男（主担当） 教授・法医学  
藤原純子 学内講師・法医学  
木村かおり 学内講師・法医学

## 一般目標 **general instructional objectives**

1. 個人識別をめぐる問題を主として法医学の立場から理解し、個人識別をめぐる社会的問題を理解し行動する。

## 行動目標 **specific behavioral objectives**

1. 個人識別の一般的知識を説明でき、個人識別に関わる社会的問題に積極的に関わる態度を示し、社会的に行動することができる。

## 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3 以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

## 使用テキスト・参考文献

講義ごとに次回の参考文献を示す。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	物体検査	竹下治男
2	（演習）物体検査における実務例	〃
3	古典的（生化学的）血液型	〃
4	（演習）古典的（生化学的）血液型における実務例	〃
5	各種遺伝マーカー 1	木村かおり
6	（演習）各種遺伝マーカー 1 における実務例	〃
7	各種遺伝マーカー 2	〃
8	（演習）各種遺伝マーカー 2 における実務例	〃
9	DNA 型 1	藤原純子
1 0	（演習）DNA 型 1 における実務例	〃
1 1	DNA 型 2	〃
1 2	（演習）DNA 型 2 における実務例	〃
1 3	親子鑑定	〃
1 4	（演習）親子鑑定における実務例	〃
1 5	（演習）総合討論。コースのまとめ	〃